

季節という時を刻む家

モダンであることにこだわり、
柔らかい光に満ちた、優雅な円弧のリビング
光が水鏡に美しい陰影を落とす、招きの設え
富士を一望する、寛ぎのペントハウス
畳に座り、静かに眺め見る和庭園

緑、水、光がもたらす、様々なシーンが日常を彩り
四季の訪れを予感させます

設計/アーネストアーキテクト株式会社
撮影/有川 幸雄

優雅な円弧で囲われたリビング。以前のお住まいで味わった、葉の隙間から差し込む光のきらめきが好きだったというオーナー。同じ雰囲気再現するため建築前からあった樹木はそのまま活かし、3m程広くした庭に芝生を植え緑豊かな庭を整えました。センターテーブル、壁面ラックなど特注製作した家具を全体的に優しい色合いに統一し、大開口から望む美しい緑を引き立てます。天井には間接照明を周囲に施し、円弧を美しく浮かび上がらせています。

東京郊外のヘッドタウン。駅から近い敷地は、交通量の多い幹線道路沿いにあります。計画はこの幹線道路からの騒音や視線からプライバシーを守る一方で、脇道に入ると昔からの緑豊かで閑静な住宅地となるこの土地の特徴を活かし、住宅地側には緑豊かな開放感溢れる居住空間を創造する事がコンセプトになりました。建替えるにあたりオーナーは思い入れの深い庭木を活かすことを希望されたため、旧宅の主庭の位置はそのままに、より広く明るく拡張する形で新居の主庭が形成されました。その緑溢れる主庭に向かって優雅な円弧で形成されたリビング棟と2層吹抜けのダイニングが、屋外から屋内まで連続する事で、より円弧を強調し、主庭と室内とを連続的に繋げるダイナミック空間を創造しました。

2階ファミリーリビングから見下ろす、吹抜けダイニング。リビング、ダイニング、2階への繋がりによる視線の抜け感が空間を伸びやかに演出します。各スペースが曖昧に区切られているため、どこに誰がいるのか家族の気配が適度に感じることができます。



上 / 2間続きの和室。ゆったりと設けた縁側が純和の空間の堅苦しさを和らげています。
右下 / 和室へと続く露地の入口。洋と和の空間を繋ぐ境界となる場所は飾り庇や床の御影石などにより異空間へと導く期待感を演出します。
左 / 和室専用の純和風庭。和室の向こう側が幹線道路という間取りであるにも関わらず、道路の喧騒が全く気にならないよう周囲を高さ4mの塀で囲いました。以前のお住まいから持ち込んだという庭石や樹木を効果的に配しました。



上左 / 窓を贅沢に開放し静かに眺めを愉しむ、寛ぎのベントハウス。
 右 / ベントハウスからは遠くに富士山が望めます。
 中右 / 主庭から眺めるリビング側建物。樹木からの木漏れ日が眩しい。
 左 / セカンドリビングから繋がるスタジオ。防音設備を施した部屋で、夜でも気兼ねなく音楽を愉しめます。
 下 / ウォールナット材で仕上げたキッチン。日中は庭からの光で明るく清潔感のある空間となりました。



Earnest architects

建築設計事務所：アーネストアーキテツ株式会社

お問い合わせ・資料請求
 〒108-0014 東京都港区芝 5-5-1
 TEL:03-3769-3333
<http://earnest-arch.jp>

駒沢空間ショールーム
 〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-6
 駒沢公園ハウジングギャラリー ステージ 2
 TEL:03-5707-5656

アーネストアーキテツ WEB サイトでは様々な作品事例をご覧頂けます。
[アーネストアーキテツ](#) で検索、アクセスをお待ちしております。

■DATA

敷地面積 / 520.90㎡
 延床面積 / 513.19㎡
 1階 / 326.57㎡
 2階 / 166.42㎡
 PH階 / 20.20㎡
 用途地域 / 第一種邸層住居専用 (2用途)
 構造 / RC造
 工事期間 / 2009年9月～2010年6月
 施工 / アーネストホーム株式会社

■STAFF

企画：和田直哉
 設計：板橋友也、西村研吾
 インテリアコーディネーター：松島環
 スーパーバイザー：柳生博之

上 / 外的な空間として作用するように半屋外に設けた水盤。2枚の石の間から湧き水のように静かに水が溢れ出て水面を揺らします。水盤の奥にはレセプションルームを設け、更にも奥にパティオを設けました。外部と外部を結び、来客者に驚きを与える空間となりました。

下 / エントランスと水盤スペースは上方のトップライトから明るい光がたっぷりと差し込みます。エントランス手前にはインナーアプローチを設け、屋外から室内への導入をリズムカルに繋げました。

